

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 03 月 28 日作成)

委員会名	高強度コンクリート研究小委員会	主 査 名：山崎 庸行
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>「高強度コンクリートの調査・製造・施工指針」の作成を行う。</p> <p>2003 年度：「高強度コンクリートの技術の現状」の見直し、改正点の洗い出し、および指針作成の課題の抽出。</p> <p>2004 年度：指針の本文・解説文（案）の作成・出版、講習会実施。</p> <p>2005 年度：「高強度コンクリートの技術の現状」の見直し、改定（案）作成。</p>	
委員構成 (委員名（所属）)	山崎庸行（清水建設）、一瀬賢一（大林組）、西田朗（清水建設）、梶田佳寛（宇都宮大学）、梅本宗宏（戸田建設）、太田達見（清水建設）、大野義照（大阪大学）、古賀康男（宇部三菱セメント研究所）、小室努（大成建設）、清水昭之（東京理科大学）、志村明春（建材試験センター中央試験所）、副田康英（関東宇部コンクリート工業）、玉井孝幸（工学院大学）、並木哲（大成建設）、松尾茂美（エヌ・エム・ビー）、三井健郎（竹中工務店）、依田和久（鹿島建設）	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2004 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	高強度コンクリート施工指針（案）・同解説の本文および解説文を執筆し、講習会を実施した。 （開催日・参加人数：4/19・12 名、5/24・11 名、6/23・12 名、7/9・9 名、8/24・14 名、9/24・13 名、10/8・10 名、10/23・13 名、11/4・12 名、11/30・12 名、12/17・10 名、1/14・8 名、1/26・6 名）
得られた成果	（成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無） 設計基準強度 36N/mm ² を超え 120 N/mm ² 以下の高強度コンクリートおよび降伏点が 490 N/mm ² 以上の高強度鉄筋を対象とした「高強度コンクリート施工指針（案）・同解説」を発刊し、支部共通事業として全国 9 地域（東京、仙台、札幌、名古屋、金沢、大阪、福岡、広島、高松）で講習会を行った。講習会参加人数は約 1,100 名である。
	委員会 HP アドレス： なし
目標の達成度	（当初の活動計画と得られた成果との関係） 活動計画に対して、計画通り目標を達成した。
その他評価すべき事項	非常にハードなスケジュールであったが、委員の精力的な活動・協力により施工指針制定の強い要望に応えることができた。